

行事案内



ならやま・芋煮会のご案内

日時：12月10日(木) 12時から

雨天は17日(木)に順延

場所：ならやまベースキャンプ

持ち物：通常の活動日に準じ、主食は各自で。

三瀬 英信

今年を締めくくるならやまのイベント“芋煮会”の季節となりました。昨年はビジターを含め100名近いみなさんがならやまに集い多彩なメニューを囲みにぎやかに行われました。

今年はコロナ感染の予防を最重要視して細やかな“芋煮会”とすることになりました。

今年は例年にない猛暑に活動の自粛もあり給水不足で、幾分小ぶりの出来栄でした。



すっかり“ならやま”

になじんだ三種類の“種芋”を簡単に紹介しますと、「大野芋」：福井県大野市上庄地区で栽培されている大野市特産品の一つ。身がしまっていて煮崩れしにくく粘りの強い触感が特徴。「甚五右エ門芋」：山形県最上郡で室町時代から続く「一子相伝」とされる里芋。柔らかくぬめりが強く舌触りの滑らかさが特徴。

「海老芋」：京都の京丹後市などで生産される“京イモ”とも言われ、ねっとりとして舌触りが良く、煮崩れしにくいのが特徴。

今年の芋煮会は、ならやま産の里芋を取り混ぜた“THE芋煮”がメインです。

1月ならやま活動&行事予告

* ならやま活動(木)

7日 初出式(七草粥)

10年継続会員植樹式(実りの森)

* 歴史文化クラブ主催

12日(火) 三輪山の初登拝

12月歴史文化クラブ研修会のご案内

興福寺、大安寺の歩みと今

—明治期の廃仏毀釈を経て—

羽尻 嵩

今から150年前、日本全国の寺院は大きな危機に見舞われました。「廃仏毀釈」とよばれるその事件によって、日本全国にあった仏像や経典・仏具の多くが壊され、燃やされ、売却されました。壊されて廃寺となった寺院も沢山ありました。奈良県でも、大御輪寺、妙楽寺、内山永久寺は廃寺となりました。興福寺は大きな被害を受け、五重塔が売りに出され、寺には一時僧侶がいなくなりました。鹿児島県では、千以上あった寺が一時すべてなくなり、僧侶もいなくなりました。ほかの地域も似たような状況でした。今回は廃仏毀釈の被害が最も大きかった興福寺と、東大寺が建立されるまでは平城京で最大の規模を誇っていた大安寺を訪ね、その廃仏毀釈のお話も聴かせていただき、忘れ去られかけた歴史の暗部について、考えてみませんか。

〈実施要領〉

日時：12月15日(火) 雨天実施

集合：9:00 近鉄奈良駅行基菩薩像前

持物：弁当・飲物、雨具、防寒衣など

内容：午前9:10~10:00 興福寺の東金堂、国宝館拝観(拝観料900円、奈良市民はななまのカードを提示)

10:00~11:00 講演50分、質問10分

11:00~11:20 担当世話人の説明20分

移動(路線バスにて) 大安寺境内にて昼食

午後1:00~3:00 大安寺、拝観と講演

(拝観料400円)

募集人数：20~30人

講演場所：両寺とも三密は避けられます。

申込先： 羽尻 嵩

八木 健彦